

ごあいさつ

コロナによる様々な制約から3年余り経ち、ようやく社会や学校が以前の形に戻りつつあります。このような予測困難な状況の中、全国の学校でこれまでの取組を見直し、新たな学びが始まっています。私たちも、学びの原点である「不易」と革新的な「流行」の教育について学校を問い直し、研究を進めてまいりました。

本校は、教育目標「自ら立ちつつ共に生きることを学ぶ 今日に生きつつ明日を志すことを学ぶ」の精神が備わった生徒の育成を目指し、研究を続けております。今回の研究発表テーマを「自らを高め続け、新たな時代に向けて責任をもち行動する人間の育成 ―知性を育み、省察性を高めるカリキュラムを通して―」とし、知性を育み、省察性を高めることを軸にしたカリキュラムの開発を行ってきました。主な柱として、①知のプロセスに参加する「教科する教科学習」、②特別の教科 道徳と総合的な学習の時間の性質を併せもった新領域「人間道徳」(協働の学び、個の学び)の取組を通して、目指す生徒の育成に努めています。

「教科する教科学習」の授業や、「人間道徳」の学びを披露する生徒の姿をご覧いただき、「不易と流行」のカリキュラム開発についてご提案いたします。多くの皆様にご参会いただき、忌憚のないご意見ご教示を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

香川大学教育学部附属高松中学校
校長 山本 木ノ実

日程 6月8日(木)

12:10	12:30	12:40	12:50	13:00	13:50	14:00	15:00	15:15	16:30~
受付	事務連絡	全体提案	移動	公開授業Ⅰ	移動	授業討議	移動	講演会 木村裕先生	事務連絡

公開授業Ⅰ

13:00~13:50

教科	単元名 授業説明	授業者 (学年・組)	授業会場
国語	『走れメロス』の探究～物語を形作る「変化」を掴む～ 文学的文章の「登場人物」「語り手」に着目し、生徒が立てた問いを基に現代を生きる中学生の立場から『走れメロス』の価値を探る。作品における語り手の関わり方や思いに迫る生徒の姿に注目。	額田 淳子 (2年1組)	多目2・24番教室
社会	天下泰平の世の中～江戸時代における北前船の存在価値とは～ 人は幕府に統治され身分らしく生きることが求められた時代に、なぜ北前船は自由に航行できたのか。人々の工夫や社会を発展させたからくりを迫る生の姿に注目。	宮武 昌代 (2年2組)	建心館
音楽	「桜」を表現しよう イメージした「桜」と歌曲「花」や箏曲「さくらさくら」が表現している「桜」は同じ「桜」なのか。表したい「桜」を音楽を形づくっている要素の働きを考えながら、箏を使って「桜」を表現する。	小澤 聡 (3年1組)	音楽室
美術	中学1年生の私 ～感情を形で表そう～ 目に見えない感情を、どのような形で表せるのか。実験を通して得た形の性質や働きに対する知識を活用して、今の自分の感情を抽象的な形で表現する。	柴島 克浩 (1年2組)	美術室
保健体育	陸上競技「走り高跳び」～走り高跳びにおいて仲間のために自分が果たす「責任」とは～ 「学びに向かう力・人間性等」の指導内容の1つである「責任」を核として、保健分野と関連させた授業を実践する。「する」だけでなく「支える」関わりから豊かなスポーツライフの実現を目指す。	藤本 光 (1年3組)	体育館

授業討議

14:00~15:00

教科・部会	発表者	司会者(中学校) 記録者(中学校)	指導助言者 (香川大学)	指導助言者 (教育委員会関係)
国語	額田 淳子 森宗 利晃	木村 香織(附属坂出) 香川 千夏(附属坂出)	浅井 哲司	尼子 智悠 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
社会	小野 智史 高橋 範久 宮武 昌代	大西 正芳(附属坂出) 藤本 大貴(附属坂出)	鈴木 正行	大和田 俊 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
音楽	小澤 聡	荒岡 真衣(附属坂出) 森 英起(香 東)	岡田 知也	井川 史郎 (香川県教育センター)
美術	柴島 克浩	渡邊 洋往(附属坂出) 金丸 高士(香 南)	古草 敦史	熊田 知香 (高松市総合教育センター)
保健体育	藤本 光	徳永 貴仁(附属坂出) 廣石 真奈美(附属坂出)	米村 耕平	増田 一仁 (香川県教育委員会事務局保健体育課)

講演会

15:15~16:30



木村 裕先生 花園大学 教授 専門：教育方法学(カリキュラム論、授業論、教育評価論等)

講演会内容

令和の日本型学校教育の構築を目指した教科学習の在り方(仮)

日 程 6月9日(金)

9:00	9:20	9:30	10:40	10:50	11:10	11:40
受付	事務 連絡	人間道徳 パネルディスカッション	移 動	全体提案	研究への助言 磯田文雄先生	昼食
		13:00	13:50	14:00	15:00	15:15
	昼食	公開授業Ⅱ	移 動	授業討議 養護部会	移 動	鼎 談 石井英真先生、岡田涼先生
						事務 連絡

人間道徳パネルディスカッション

9:30~10:40

領域	学 年	プロジェクト名(協働の学び) 内容(個の学び)	提案者	提案会場
協働の 学び	1 年	Self-discovery プロジェクト	高橋 範久	33, 34 番教室
	2 年	彩り発見プロジェクト ~自ら考える挑戦~	森宗 利晃	21~23 番教室
	3 年	明日 for us プロジェクト ~附中ひろば~	小柳 昌弘	31, 32 番教室
個の学び		年間スケジュール, 生徒(各学年)の個の学び資料, 生徒による個の学び報告	山下 裕平	MMR, 図書室

研究への助言

11:10~11:40



磯田 文雄先生 花園大学 学長 専門：教育行政・財政，教育社会学

講演会内容
省察性について 本校の提案に対する助言

公開授業Ⅱ

13:00~13:50

教 科	単 元 名 授 業 説 明	授業者 (学年・組)	授業会場
数 学	正の数と負の数～素数の魔力を感じよう～ 自然数を様々な見方で分類していく中で、素数と合成数によって構成されることを体感的に学ぶ。合成数がどのような素数の組合せでできるのかを探究し、数の性質に迫ろうとする生徒の姿に注目。	上西 崇紘 (1年1組)	多目2・24 番教室
理 科	化学変化とイオン「酸・アルカリと塩」 酸やアルカリの性質とイオンとの関係に着目し、生まれた疑問や課題をもとに科学的に探究する。考察の場面ではアーギュメントを精査しながら、より妥当な知を創造しようとする生徒の姿に注目。	萱野 大樹 (3年3組)	理科 I 教室
技術・家庭 (技術)	情報「双方向性のあるコンテンツのプログラミング」～サーバで問題解決をしよう～ サーバにデータを蓄積することや、プログラムを工夫してサーバにデータを分析させることを通して、簡易な AI を作成することを試みる。変数を応用しながらプログラムを構想する生徒の姿に注目。	左海 亮 (3年2組)	技術室
技術・家庭 (家庭)	消費者の権利と責任～未来の自分をコーディネート～ 2030年の自分へ…。中学生の自分から大人になった自分に贈るファッションコーディネート提案。理想の社会と自分の実現のため、消費行動を自分事として捉えようとする生徒の姿に注目。	和田 美紀 (3年1組)	家庭科室
英 語	Food Cultures of the World. 和食の魅力を海外の人に発信する“Report on Food”を作成する。生徒同士によるリキャストやグループワークによる評価を用いてよりよい表現を工夫する生徒の姿に注目。	佐藤 梨香 (2年3組)	建心館

授業討議・養護部会

14:00~15:00

教科・部会	発表者	司会者(中学校) 記録者(中学校)	指導助言者 (香川大学)	指導助言者 (教育委員会関係)
数 学	上西 崇紘 山下 裕平	逸見 翔大(附属坂出) 松添 啓子(附属坂出)	松島 充	太田 隆志 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
理 科	赤木 隆宏 萱野 大樹	島根 雅史(附属坂出) 宮崎 浩行(附属坂出)	笠 潤平	深澤 裕幾 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
技術・家庭 (技術)	左海 亮	加部 昌凡(附属坂出)	宮崎 英一	稲毛 晶 (香川県教育センター)
技術・家庭 (家庭)	和田 美紀	大西 昌代(附属坂出)	一色 玲子	池下 香 (丸亀市立綾歌中学校)
英 語	佐藤 梨香 小柳 昌弘	黒田 健太(附属坂出) 石田 史沙(附属坂出)	中住 幸治	眞鍋 容子 (香川県教育委員会事務局義務教育課)
養 護	青木 早貴	養護部会提案内容：チーム学校として健康相談を進めるために養護教諭が果たす役割 -多職種間の連携を円滑にするためのアセスメントシートの活用-		橋 和代 (香川県教育委員会事務局保健体育課)
		高橋 妹子(附属坂出) 宮地 紘子(附属高松小)	橋本 忠行	



石井 英真先生

京都大学准教授

専門：
教育方法学
(カリキュラム開発, 授業創造等)



岡田 涼先生

香川大学准教授

専門：
教育心理学
(学習意欲, 自己調整学習等)

実践校としての本研究の具体を題材に, それぞれのご専門から中学校カリキュラムの在るべき姿を語り合います。

講演会内容 令和の日本型学校教育の構築を目指した学校教育の在り方 ~それぞれのご専門から~

全体提案

8日 12:40~12:50, 9日 10:50~11:10

本校のカリキュラムについて

発表者 研究主任 赤木 隆宏

知性 (「答えのない問い」に対して, その問いを問い続け, 考え, 判断する能力) を育み,
省察性 (多様な他者や社会との関係の中で, 自己の生き方・在り方を問い直して調整していくこととするその人の態度や性質) を高める
カリキュラムの開発と実践を紹介します。

教科する教科学習

教科する教科学習(各教科ならではのおもしろさや魅力, その教科を学ぶ意義の実感につながる知のプロセスに参加する教科学習)のもと, 各教科で研究主題を設定し, 知性に必要なその教科の資質や能力, 態度を学び, 育みます。



人間道徳(協働の学び)

同学年の仲間や多様な他者と協働で地域や社会に働きかける生徒主体のプロジェクト型の学習と単元の節目や活動の中で自己の生き方・在り方を問い直し, 調整する時間「省察の時間」を編成した学びを通して知性を発揮し, 伸ばすとともに省察性を高めます。



人間道徳(個の学び)

生徒一人ひとりの自由で主体的な課題設定, 調査, 交流, 探究, 表現等を重視した学びとその内容を異学年や外部の人たちと意見交換する場「ゼミ」を編成した学びを通して, 知性を発揮し, 伸ばします。



本校にお越しの方へ

- 自家用車
運動場を駐車場としてご使用いただけます。
北門よりご入場ください。
- ことでんバス
鹿角線, 香川中央高校行き「鹿角」下車
南へ およそ 200m
- ことでん(琴平線)
太田駅下車 西へ およそ 1500m



参加費・申込方法について

- 参加費 **無料**
- 申込方法 本校ホームページ上の申込フォームから, web でお申し込みください。本校ホームページはこちら。

<https://www.tch.ed.kagawa-u.ac.jp/>

附属高松中学校

検索

- 申込期間 **令和5年5月8日(月)9時~6月2日(金)17時**

※ 参加申し込みは, 原則 web 申し込みとなります。web による申し込みができない場合, ホームページの FAX 申込書をダウンロードして印刷いただき, 必要事項を記入の上, FAX (087-886-2124) までお申し込みください。

- お問い合わせ先: 087-886-2121 または ono.tomofumi@kagawa-u.ac.jp まで

